



第38回

北信越国民体育大会



ボクシング競技プログラム

《期間》平成29年8月25日金～27日日 《場所》武生工業高等学校体育館

主催／(公財)日本体育協会・福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会
長野県教育委員会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会・(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会・(公財)長野県体育協会

共催／会場地市町・会場地市町教育委員会 後援／スポーツ庁 主管／(公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開 催 の 趣 旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

スポーツ精神とは、自らスポーツを行うことに意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的かつ継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことである。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若い力	1	諸会議日程	8
新福井県民歌	1	競技日程	9
あいさつ	2	競技成績表	10
お祝いの言葉	3	監督・選手名簿	12
あいさつ	4	過去の成績	13
歓迎のことば	5	競技の見方	14
競技会役員	6	競技会場案内図	17
競技役員	7	宿舎・大会本部等	19
式典次第	8		

若い力

日本体育協会選定
佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

一、若い力と
燃えよ若人
歓喜あふれる
肩にひとひら
花も輝け
競え青春
強き者

二、薫る英気と
瞳あかるい
僕らのよるこび
挙る凱歌に
友情身にしむ
競え青春
強き者

三、純情に
スポーツマン
君のもの
虹が立つ
熱こそいのち
強き者

新福井県民歌

三好達治 作詞
小松長生 作曲

一 長江は野に横たはり
青海は岬にうたふ
国どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし

二 秋の日の垂り穂ゆたかに
いや足らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭

三 こゝにして新しき世は
ふるき世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新墾の道はるかなり

たたなはる (重なりあって連なる) 足らふ (十分である)
いろくづ (魚のうろこ、魚) 幸はふ (豊かに栄える)
あなさやけ (とても清らかだ) 新墾 (新しく開墾する)

あ い さ つ



第38回北信越国民体育大会 会長
公益財団法人福井県体育協会 会長
福井県知事 西 川 一 誠

第38回北信越国民体育大会が北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、福井県において盛大に開催されますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、郷土の代表としての誇りを胸に、今年開催の「愛顔^{えがお}つなぐ えひめ国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

選手の皆様には、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応えるとともに、地域の人たちとの友情の輪を大きく広げていただき、思い出に残るすばらしい大会となりますよう祈願しております。

本県では、来年開催される第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体・障スポ」に向けて、県・市町の競技会場の整備を進めており、メイン会場となる福井運動公園では、県営体育館や県営テニスコートが完成し、本年4月に供用を開始しました。さらに、県民総参加で、全国から多数の選手、役員の皆様を温かくお迎えし、心のこもったおもてなしをする準備を進めるとともに、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技を開催するなど、国民体育大会と障害者スポーツ大会の「融合」を広くアピールしていきたいと考えています。北信越各県の皆様におかれましてもご支援・ご協力をお願いします。

また、県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、豊かな自然の中で育まれた福井県の食をご堪能いただくとともに、永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡など本県の歴史や文化の魅力に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。

お 祝 い の 言 葉



福井県議会議員 松 田 泰 典

第38回北信越国民体育大会が、北信越5県の代表の選手や関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを、地元 福井県議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

皆様には、日ごろから、スポーツの振興に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、スポーツを通して明るい社会づくりに貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

本大会は、第72回国民体育大会（愛媛国体）への出場権をかけて行われ、北信越地区では最も権威のある大会であります。選手の皆様には、日ごろ鍛えられた力と技を十分に発揮され、輝かしい成果を収められることを期待しております。

福井県は、豊かな自然や歴史、多彩な伝統工芸や美しい和食文化に恵まれ、また、子どもたちの学力・体力や県民の幸福度も全国トップクラスの評価を受けております。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、福井の魅力を満喫していただければ幸いに存じます。

来年の第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」は本県での開催となります。必要な施設や環境の整備も順調に進んでおり、県外からのお客様をお迎えする準備も、県民一丸となって盛り上げてまいります。来年、皆様方とここ福井で再びお会いできることを念願しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた役員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、大会にご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



福井県ボクシング連盟

会長 安川 繁 博

第38回北信越国民体育大会開催にあたりまして、福井県ボクシング連盟を代表しまして一言ご挨拶申し上げます。

まず、ここ越前市において北信越各県の選手及び監督、並びに役員の皆様を多数お迎えし本大会を開催いたしますことは誠に喜ばしく、ご来県を心より歓迎申し上げます。ご存知のように福井県では本年は全日本選手権、来年は国民体育大会の開催が決定しております。国民体育大会に向けて、ここ数年来選手の育成強化をはかってまいりましたが、北信越の各県が切磋琢磨し合い、更なるレベルアップに繋がっていただければと考えております。夏の盛りで体調管理が難しい時期の開催となりますが、各県の選手の皆様には日頃より鍛えた実力を遺憾なく発揮され、大会を盛り上げていって欲しいと望んでおります。

また、ボクシングを通じた交流から未来につながる新たな絆が生まれてくることにも期待しております。

最後に、北信越各県関係者の皆様の多大なるご尽力に深く感謝を申し上げますとともに、全日本及び国民体育大会開催に際しましてもこれまで以上のご協力とご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶と致します。

歓迎のことば



越前市長 奈良 俊 幸

第38回北信越国民体育大会が本県の各会場で盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、越前市へお越しいただいた選手・役員の皆様を歓迎申し上げます。

本大会は「愛顔つなぐえひめ国体」の予選会となっており、ソフトボール、ソフトテニス、フェンシング、ボクシングの各種目に出場される選手の皆様には、これまで鍛えられた力や技を存分に発揮され、実り多い大会となることを期待しています。

さて、越前市は武生市と今立町が合併して誕生しましたが、その歴史は大変古く、大化の改新の頃に「越前の国」の国府が置かれて以来、北陸の政治・経済・文化の中心として栄えてまいりました。

平安時代には、「源氏物語」の作者である紫式部が生涯でただ一度、京の都を離れ、多感な少女時代を過ごした地です。

産業面では、越前和紙や越前打刃物などの伝統産業から電子部品などの先端産業に至る幅広い産業が集積し、製造品出荷額が県内第一位の「ものづくり都市」として発展を続けています。

近年は「越前市三大グルメ」として「越前おろしそば」「ボルガライス」「武生駅前中華そば」が好評を博していますので、ご堪能をいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた皆様に深く敬意を表しますとともに、選手・役員の皆様のご活躍をお祈り申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

競 技 会 役 員

名 誉 会 長	奈良 俊幸			
会 長	安川 繁博			
副 会 長	神田 正敏	堀口外茂雄	永井 彰	黒澤 一也
顧 問	前田 一博	藤原 邦有	中島 和則	美濃 美雄
	宮崎憲太郎	高島 正幸	田辺 哲也	橋詰 善和
	成田 仁夫	木村 明	辻 里昭	田村 康夫
	渡辺 哲雄			
参 与	上嶋 喜一	西山 和秀	牧田 進一	
委 員 長	西川 国夫			
副 委 員 長	鶴木 良夫	高井 孝治	黒田 勲	奥原 亨
委 員	見延 英樹	大塚 宏之	辻川 千智	吉田 知明
	岸田 憲彦	柳原 朋幸	高井 孝治	永井 彰
	小宮山泰典	前坂 敬治	中岸 勝則	永木 寿也
	佐々木真介	阿部 和弘	白崎 佑磨	田端 雅己
	塚本 敏博	矢部 覚	松村二三男	

競 技 役 員

競 技 委 員 長	西川 国夫			
競技副委員長	前坂 敬治	中岸 勝則	永木 寿也	佐々木真介
医 事 委 員 長	安川 繁博			
D ・ S	鶴木 良夫			
審 判 長	五十嵐丈久			
審 判 員	櫻井 修	圓山 和也	宮村 政人	中西 健吾
	丸田 太一	松原 知樹	奥原 亨	神津 克幸
	田端 雅巳	塚本 敏博	三田村嘉仁	成田 仁夫
総 務 委 員	中岸 勝則	前坂 敬治	永木 寿也	佐々木真介
検診計量委員	田端 雅巳	近藤 昭憲	川島 香	山口 芳実
	永松 翔太			
選手進行委員	塚本 敏博	滝波 勉	辻 清二	吉川 泰弘
	小畑 博紀			
計 時 委 員	三田村嘉仁	井関 佳司	北島 直人	山崎 耕史
放 送 委 員	岸田 憲彦	西脇 英恵	森山 有一	下岡 詢平
グローピング	松村二三男	笈田 孝一	岩本 正数	森下 孝和
	柴田 直規	白崎 隼樹		
記 録 委 員	佐々木真介	矢部 覚	多田 茂	岩野 光容
	大坂 真之	吉田 蕉悟		
補 助 員	福井工業大学拳闘部員			
	羽水高等学校ボクシング部員			
	武生工業高等学校ボクシング部員			
	北陸高等学校ボクシング部員			
	福井高校ボクシング部員			

式 典 次 第

【開 始 式】

期日 平成29年8月25日(金)

時間 17時00分

場所 武生工業高等学校体育館

【表 彰 式】

期日 平成29年8月27日(日)

時間 競技終了後

場所 武生工業高等学校体育館

次 第

- 1 開 式 通 告
- 2 選 手 入 場
- 3 競技会開始宣言
- 4 優勝杯返還
- 5 開 会 あいさつ
- 6 来 賓 あいさつ
- 7 選 手 宣 誓
- 8 閉 式 通 告
- 9 選 手 退 場

次 第

- 1 選 手 整 列
- 2 開 式 通 告
- 3 成 績 発 表
- 4 表 彰
- 5 閉 会 あいさつ
- 6 競技会終了宣言
- 7 閉 式 通 告
- 8 選 手 退 場
- 9 役 員 退 場

諸 会 議 日 程

会 議 名	期 日	時 間	場 所	電 話 番 号
監督会議	8月25日(金)	16時30分 (検診計量終了後)	武生工業高校体育館 第二競技場	0778-22-2730
審判会議	8月25日(金)	16時30分	〃	〃
	8月26日(土)	9時30分	〃	〃
	8月27日(日)	9時30分	〃	〃

競 技 日 程

開始式 平成 29 年 8 月 25 日(金) 17 時 00 分 武生工業高等学校体育館競技場

1 検診・計量

期 日	時 間	備 考
8 月 25 日(金)	14 時 00 分	参加選手全員が、検診・計量ともに行う。 少年・成年男子、女子の順。 10 分前に、点呼を行う。
8 月 26 日(土)	8 時 30 分	出場者全員、順序は上記に同じ。 10 分前に、点呼を行う。
8 月 27 日(日)	8 時 30 分	出場者全員、順序は上記に同じ。 10 分前に、点呼を行う。

2 競 技 日 程

期 日	時 間	備 考
8 月 25 日(金)	17 時 30 分 (開始式後)	1 回戦：少年・成年男子・女子の順
8 月 26 日(土)	10 時 30 分	準決勝：少年・成年男子・女子の順
8 月 27 日(日)	10 時 30 分	決 勝：少年・成年男子・女子の順

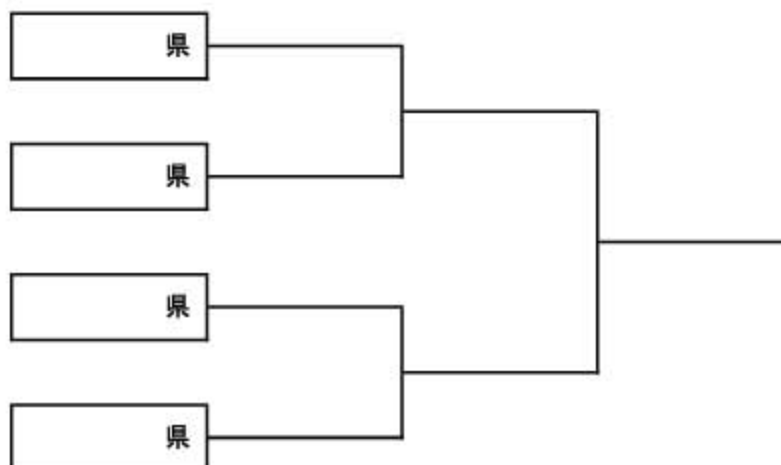
表彰式 平成 29 年 8 月 27 日(日) 競技終了後 武生工業高等学校体育館競技場

競 技 成 績 表

【成年男子の部】

階級 \ 県名	新潟県	石川県	富山県	長野県	福井県
ピ ン					
ラ イ ト フ ラ イ					
フ ラ イ					
バ ン タ ム					
ラ イ ト					
ラ イ ト ウエルター					
ウエルター					
ミ ド ル					
総 合 計					
順 位					

【成年女子の部】



【少年男子の部】

階級 \ 県名	新潟県	石川県	富山県	長野県	福井県
ピ ン					
ラ イ ト フ ラ イ					
フ ラ イ					
バ ン タ ム					
ラ イ ト					
ラ イ ト ウエルター					
ウエルター					
ミ ド ル					
総 合 計					
順 位					

監督・選手名簿

【少年男子の部】

監督・階級	新潟県	石川県	富山県	長野県	福井県
監督	ニタミ フミタカ 仁多見 史隆 開志学園高等学校(職)	コバヤシ ユウイチ 小林 裕一 工業高等学校(教)	マルヤマ イサム 丸山 勇 富山西高等学校(教)	マキノ リョウタ 牧野 遼太 森のようちえんちろば	キンダ ナリヒコ 岸田 憲彦 羽水高等学校(教)
監督	サトウ ユタカ 佐藤 雄高 新潟向陽高等学校(教)		カマモリ コウジ 鎌森 公士 上市高等学校(教)		ヤマデキ コウジ 山崎 耕史 羽水高等学校(教)
ピン			ジンボ タツヤ 神保 達也 上市高等学校		イワサキ ショウゴ 岩佐 亮吾 羽水高等学校
ライトフライ	タキザワ ニイキチ 滝澤 栄吉 開志学園高等学校	テラダ レツ 寺田 烈 内灘高等学校	トイリヒト 土井 璃人 上市高等学校	ササキ エイスケ 佐々木 英介 佐久平総合技術高等学校	
フライ		タカ ヌウイチロウ 高 優一郎 工業高等学校	ゴウダ ヒロキ 郷田 大貴 上市高等学校		ナンブ アツキヤ 南部 敦也 羽水高等学校
バンタム	ハヤカワ ミツキ 早川 温貴 開志学園高等学校	ヒロセ ソウタ 廣瀬 想太 工業高等学校	アラサキ エイジ 有澤 英志 富山工業高等学校	セキ ロウスケ 関 要介 佐久平総合技術高等学校	
ライト	イトウ ジョウ 伊藤 丈 新潟青陵高等学校	ウチダ セナ 内田 聖那 遊学館高等学校		ヤマウラ リキヤ 山浦 力也 佐久平総合技術高等学校	ウチヤマ ダイジ 内山 大樹 福井工業大学付属福井高等学校
ライト ウェルター	マサダ ショウイチ 増田 翔一 巻総合高等学校	ショウゲン タカノ 庄源 高徳 小松商業高等学校		ハラ カガト 原 輝人 松川高等学校	
ウェルター			イシタワ ジョウイチロウ 石倉 丈一郎 上市高等学校	ナリタ ヌウタロウ 成田 優太郎 小諸商業高等学校	ヨシカワ ケンシロウ 吉川 拳士朗 武生工業高等学校
ミドル	コンドウ リク 近藤 陸 開志学園高等学校				ニシムラ キョウマ 西邑 京真 武生工業高等学校

【成年男子の部】

監督・階級	新潟県	石川県	富山県	長野県	福井県
監督	ツルキ アキラ 鶴木 聡 (株)新潟日報社	マヅモト ユウジ 松本 裕二 ソニー生命(株)	オオタニ エイジロウ 大谷 栄二郎 公益財団法人富山県体育協会	トナガキ ケイスケ 徳永 圭典 犀隈中学校(教)	ササキ シンスケ 佐々木 真介 福井南特別支援学校(職)
ライトフライ	ミウラ ヨウスケ 三浦 涼輔 拓殖大学	キムラ リョウタ 木村 涼汰 神奈川工科大学		ナツイ シュウ 縄井 愁 飯田ボクシングジム	タナカ カズトモ 田中 利知 東京農業大学
フライ	イチカワ ハルキ 市川 春希 駒澤大学		アオヤマ コウダイ 青山 耕大 専修大学		
バンタム	タカハシ ハルキ 高橋 春希 拓殖大学	イノシタ ヒロキ 井ノ下 大樹 金沢大学	サトウ アツシ 佐藤 篤 中央大学	テラサワ トオル 寺澤 徹 大東文化大学	
ライト	コバヤシ マサヤ 小林 将也 新潟北高等学校(教)	ダン コウタロウ 團 弘太郎 サンユー精密(株)	イヌジマ ションペイ 犬島 峻平 明治大学		マサダ ショウ 増田 将 同志社大学
ライト ウェルター	ササキ コウタ 佐々木 光大 駒澤大学	キタガワ マサヒロ 北川 真大 白山消防署	ツチダ ダイスケ 土田 大輔 早稲田大学	サトウ ヒロキ 佐藤 拓生 (株)鈴木	
ウェルター		タケウチ イクマ 武内 伊久磨 アール・ピー・コントロールズ(株)	マツイ タイガ 松井 大河 富山県ボクシング連盟	ミヤバワ コリスケ 宮原 康輔 小浜興業	シラサキ ジョウキ 白崎 集樹 JA共済連
ミドル				ヒダマ リョウヘイ 氷熊 良平 (株)パナソニックエナジーフリー	コバヤシ ショウタ 小林 将大 同志社大学
ライトヘビー					シラサキ コウマ 白崎 佑磨 武生工業高等学校(教)

【成年女子の部】

監督・階級	新潟県	石川県	富山県	長野県	福井県
監督	ノムラ タカシ 野村 孝志 巻総合高等学校(教)	ウシロガワ ノブヒト 後川 徳人 石川県立金沢北高等学校(教)	クロダ イサオ 黒田 勲 富山県水墨美術館		ヤマダチ ヨシエ 山口 芳実 ルネッサンス福井南
フライ	サカシタ リイ 坂下 莉衣 拓殖大学	ナカニシ ミサト 中西 美里 こまつ看護学校	ハヤシ アヤキ 林 彩音 平成国際大学		ワダ マチカ 和田 まどか 公益財団法人福井県体育協会

過去の成績一覧表

【少年の部】		会 場 地		【成年の部】		【成年女子の部】
優 勝	準優勝			優 勝	準優勝	優 勝
石 川 県	新 潟 県	第 1 回	富 山 県 高 岡 市	石 川 県	富 山 県	
長 野 県	新 潟 県	第 2 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	長 野 県	
長 野 県	新 潟 県	第 3 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟 県	福 井 県	
富 山 県	長 野 県	第 4 回	新 潟 県 新 潟 市	石 川 県	長 野 県	
新 潟 県	石 川 県	第 5 回	石 川 県 金 沢 市	石 川 県	富 山 県	
新 潟 県	石 川 県	第 6 回	富 山 県 高 岡 市	福 井 県	新 潟 県	
新 潟 県	福 井 県	第 7 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	長 野 県	
新 潟 県	長 野 県	第 8 回	福 井 県 鯖 江 市	長 野 県	新 潟 県	
新 潟 県	福 井 県	第 9 回	新 潟 県 新 潟 市	新 潟 県	長 野 県	
新 潟 県	福 井 県	第 10 回	石 川 県 金 沢 市	新 潟 県	長 野 県	
新 潟 県	石 川 県	第 11 回	富 山 県 高 岡 市	新 潟 県	石 川 県	
新 潟 県	富 山 県	第 12 回	長 野 県 上 田 市	長 野 県	新 潟 県	
新 潟 県	石 川 県	第 13 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟 県	長 野 県	
新 潟 県	石 川 県	第 14 回	新 潟 県 新 潟 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	石 川 県	第 15 回	石 川 県 金 沢 市	新 潟 県	長 野 県	
新 潟 県	富 山 県	第 16 回	富 山 県 高 岡 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	石 川 県	第 17 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	石 川 県	
新 潟 県	福 井 県	第 18 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟・富山県		
新 潟 県	富 山 県	第 19 回	新 潟 県 加 茂 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	石 川 県	第 20 回	石 川 県 金 沢 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	富 山 県	第 21 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	富 山 県	第 22 回	富 山 県 高 岡 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	福 井 県	第 23 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	富 山 県	第 24 回	新 潟 県 新 潟 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	福 井 県	第 25 回	石 川 県 津 幡 町	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	石 川 県	第 26 回	富 山 県 高 岡 市	福 井 県	新 潟 県	
新 潟 県	福 井 県	第 27 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	石 川 県	第 28 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	福 井 県	第 29 回	新 潟 県 新 潟 市	新 潟・福井県		
富 山 県	石 川 県	第 30 回	石 川 県 金 沢 市	石 川 県	福 井 県	
新 潟 県	富 山 県	第 31 回	富 山 県 富 山 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	富 山 県	第 32 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	富 山 県	第 33 回	福 井 県 鯖 江 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	福 井 県	第 34 回	新 潟 県 新 潟 市	新 潟 県	富 山 県	
新 潟 県	福 井 県	第 35 回	石 川 県 金 沢 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	福 井 県	第 36 回	富 山 県 富 山 市	新 潟 県	福 井 県	
新 潟 県	福 井 県	第 37 回	長 野 県 上 田 市	新 潟 県	福 井 県	新 潟 県

ボクシング競技の見方

ボクシングは、古代オリンピックの種目として行われていた、古い歴史を持つスポーツです。当時すでに成年と少年の2つの部に分けられていました。

近代ボクシングは18世紀にイギリスで始まりました。その後、ヨーロッパやアメリカ大陸の各地に伝わります。わが国では1921年に東京で始まりました。現在、国際ボクシング協会(AIBA)の加盟は201の国と地域におよび、世界各国で親しまれているスポーツです。

ボクシング競技は、手にグローブをつけ相手と打ち合います。しかし、激しさや力強さや逞しさだけが優先するスポーツではありません。正しい練習をすれば誰にでもできるスポーツです。古くからボクシングは、スピードとタイミングの芸術であり、ボクサーはリングの賢者と呼ばれてきました。

ボクシングの技術的基礎は、攻撃と防御のバランスで成り立っています。

競技中は、自己の感情を理性でコントロールする強い意志と決断が必要です。がむしゃらで感情的な動きは、冷静な勇気の技術には通用しません。ピンチに際しては自己統制力、高度の精神集中で耐え抜き、反撃に移ります。アマチュアボクシングは力より機敏な技を、激高することではなく冷静な判断力を学びます。

競技終了後は、互いに技術と健闘精神を褒め称え合います。そこでスポーツマンシップが向上し、深い友情で結ばれていきます。青少年の身体の成長に有意義なスポーツです。

1. ボクシングは同じ階級の選手同士が競技する合理的なスポーツで、第38回北信越国民体育大会では8階級で競技が行われます。

	階 級	体 重 上段：少年男子・成年男子	少年 男子	成年 女子	成年 男子	グローブ	
						少年男子 成年女子	成年 男子
1	ピン(P)級	44kg超過 46kgまで 43kg超過 45kgまで	○				
2	ライトフライ(LF)級	46kg超過 49kgまで 45kg超過 48kgまで	○		○		
3	フライ(F)級	49kg超過 52kgまで 48kg超過 51kgまで	○	○	○		
4	バンタム(B)級	52kg超過 56kgまで 51kg超過 54kgまで	○		○		10 オンス
5	フェザー(Fe)級	— 54kg超過 57kgまで				10 オンス	
6	ライト(L)級	56kg超過 60kgまで 57kg超過 60kgまで	○		○		
7	ライトウェルター(LW)級	60kg超過 64kgまで	○		○		
8	ウェルター(W)級	64kg超過 69kgまで	○		○		
9	ミドル(M)級	69kg超過 75kgまで	○		○		12 オンス
10	ライトヘビー(LH)級	75kg超過 81kgまで			○		

※少年男子・成年女子は、国民体育大会で競技が行われる階級です。

2. ラウンド

成年（シニア）男子および成年（シニア）女子は3分3ラウンド、少年（ジュニア）男子は2分3ラウンドで競技が行われます。ラウンドの間には1分のインターバル（休憩）があります。

3. グローブ・ヘッドガード

競技者は赤または青の自分のコーナー色のグローブおよびヘッドガードを使用します。成年（シニア）男子はヘッドガードを着用しません。ともに国際ボクシング協会（AIBA）および日本ボクシング連盟の検定を受けたものを使用します。

ヘッドガードを使用しない成年（シニア）男子の競技では、競技者はカット予防のため、キャピロンを使用します。

4. 服装

競技者はスパイクのない踵の低い柔軟なシューズを履き、膝にかからない長さのトラックスと胸と背中を覆うランニングシャツを着用して競技する。グローブの下にバンテージを着用し、ターゲットエリア（ヘソより上の前面および側面）を覆わないカッププロテクター（成年女子はローブローガード）と、赤および赤系統の色を含まないガムシールドを必ず使用します。

5. 審判員

審判はリング内で競技を管理する1人のレフリーと採点する5人または3人のジャッジで行います。

6. デビュティースーパーバイザー（DS）

日本ボクシング連盟主催の競技会やその他の競技会にはDSをおきます。DSは日本ボクシング連盟が資格を認定した者で、競技を統括します。

7. 採点システム

日本ボクシング連盟主催の公認競技会ではAIBA採点システム（10ポイント・マスト・システム）を使用します。この採点システムはラウンドごとに赤・青どちらの選手が優れているかを判断し、優れている方に必ず10点を与える採点方式です。

8. 採点基準

ターゲットエリアへの質の高い打撃の数、技術や戦術の優勢を伴って競技を支配していること、積極性やルール違反をしていないことを考えて優れている競技者に10点を与えます。劣勢な競技者に対して9点から7点の得点を与えます。

9. 競技の判決

（1）WP…ポイント

①ラウンドごとの各ジャッジが与えた得点により勝者を決定する。競技の勝者はジャッジの多数決により決定する。

②故意でないファウルで負傷があり競技がストップした場合、それまでの得点で勝者を決定する。

③両競技者同時負傷で競技が続けられない場合、それまでの得点で勝者が決定される。

④1ラウンドの終了後以降にリングの損傷、照明の故障、自然災害、その他予期できない状況などで競技者またはレフリーの責任外で競技ができなくなった場合、それまでの得点で勝者を決定する。

⑤決勝戦で両競技者ともKOになった時はそれまでの得点で勝者を決定する。

（2）RSC…レフリーストップコンテスト

①ラウンド開始のゴングで競技をできない場合。

②片方の競技者に決定的な差がついている場合や劣勢な競技者が過度な打撃を受けているとレフリーが判断した場合。

- ③ダウンの後、競技を続けられないと判断された場合。
- ④ローブロー後の処置規定による90秒の休憩後に競技を再開できない場合、相手競技者はRSC勝ちとなる。
- ⑤打撃を受けリング外まで叩き出された場合、カウント8の後に手助けなく30秒以内にリングに戻れないときは相手の競技者はRSC勝ちとなる。
- ⑥リングドクターのアドバイスでDSが競技の終了を宣告した場合。
- (3) **RSC-I…レフリーストップコンテスト—インジャリー**
 - ①競技者が反則でない打撃により負傷して競技続行が不適切とレフリーが判断した場合。
 - ②競技者が脱臼その他の自らの体が原因で競技を続けられない場合。
- (4) **ABD…アバンダン**
 - ①競技者が負傷等により自発的に放棄するか、セカンドがリング内にタオルを投げ入れるかエプロンに上がり放棄を申し出たとき相手競技者はABD勝ちとなる。ただし、レフリーのカウント中は放棄することはできない。
 - ②競技中にソフトコンタクトレンズを失い競技者が競技の続行を拒否した場合は、相手選手がABD勝ちになる。
- (5) **DSQ…失格**
 - ①競技者が反則やその他の理由で失格になった場合。
 - ②意図的な販促により負傷して競技が続行できない場合。
 - ③1競技で3回の警告を受けた場合、その競技者は自動的に失格となる。
 - ④故意で悪質な反則で失格となった選手には、その競技会における賞状・メダル・ポイント等を一切与えない。選手がスポーツマンらしくない行動により失格となった場合、DSは24時間以内に日本連盟資格審査委員会に報告しなければならない。
- (6) **KO…ナックアウト**
 - ①競技者がダウン後10秒以内に競技ができない場合。
 - ②レフリーがダウンした選手に異常を感じカウントを省略してリングドクターを呼び入れた場合。
 - ③両競技者がナックアウトの場合は、両者がKO負けとなる。

※トーナメントの決勝戦で両競技者ともKOになったときはそれまでの得点で勝者を決定する。
- (7) **WO…不戦**
 - ①一方の競技者がリング内に登場して相手競技者がアナウンス後、リング内に現れない場合ゴングが鳴らされる。ゴングの後1分間が過ぎてもリングに登場しない場合、リングに登場している競技者のWO勝ちとなる。
 - ②競技者が健診や計量で失格になった場合、相手競技者は不戦勝となる。
 - ③DSが事前に一方の競技者が登場しないことが分かっている場合、リングに登場している競技者のWO勝ちとなる。
- (8) **特別な再試合**

1ラウンド終了前にリングの損傷・照明の故障・自然災害・その他予期できない状況などで競技者またはレフリーの責任外で競技ができなくなった場合、レフリーは試合を中止できる。再競技は特別な場合を除いて原則当日中に行う。

10. 反則

レフリーは、ボクシングのフェアプレイと安全性を保ちつつ競技中の選手間での攻防技術の展開や攻守の流れ、リズムを損なわないように配慮しなければならない。(興味や醍醐味が失せる)

そのため、レフリーは競技に影響を与えない些細な反則で競技を止めないで選手にジェスチャーや言葉で示すことができます。

しかし、故意で悪質な反則に対しては警告を与えます。警告を3回受ければ自動的に失格になります。

試合会場(福井県立武生工業高等学校)までのルート

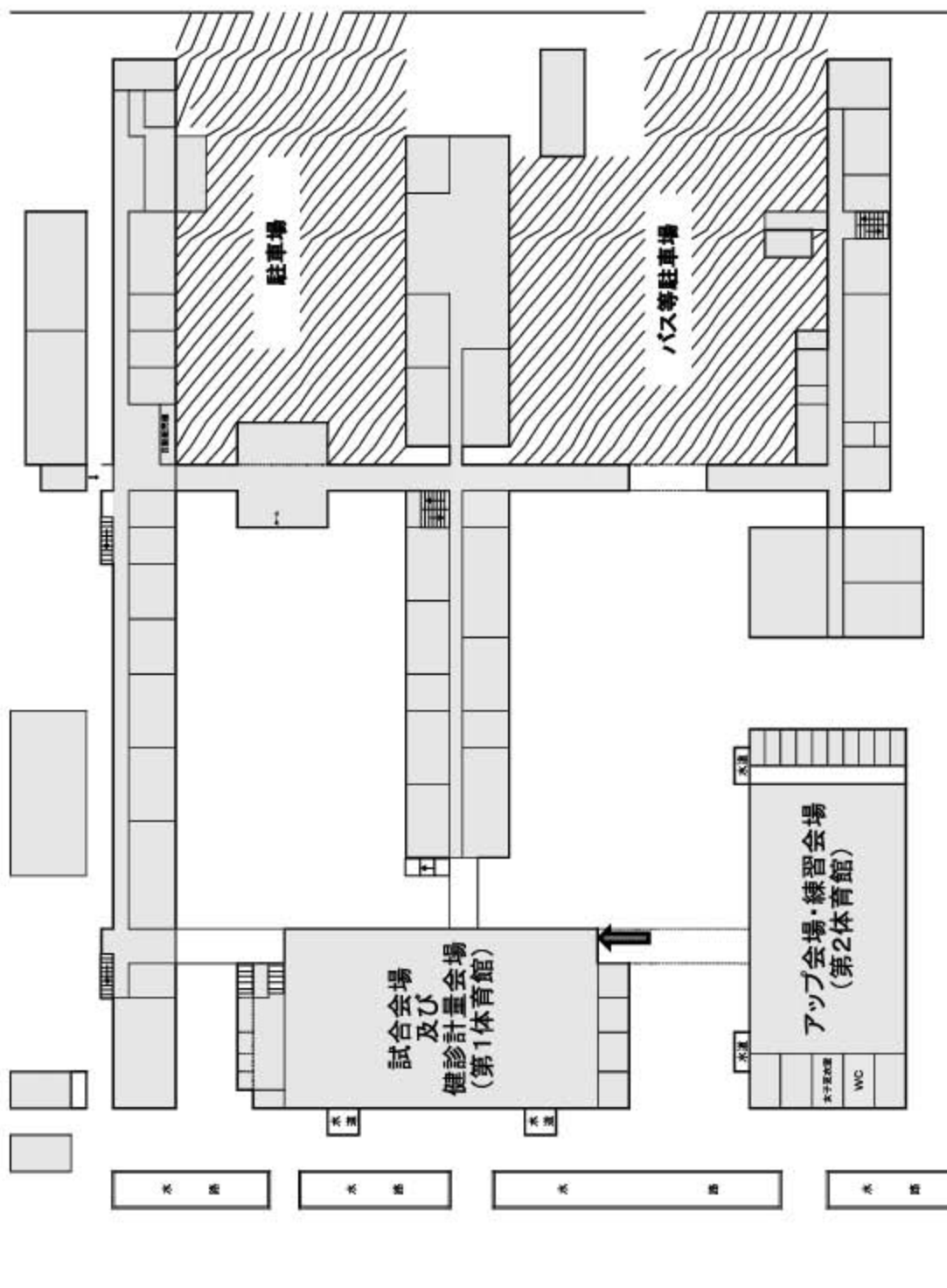
- 武生インターを降りて、信号を左折する。
- 信号を左折すると、前方に信号があり、その信号を左折する。(国道8号線)
- 信号左折後は、道なりに進み、ホームセンターみつわやラーメン屋、ローソンが右手にある交差点を右折する。
- 右折後、道なりに進み、3つ目の信号を超えてすぐの道を右折し進むと左手に福井県立武生工業高等学校に到着。



武生工業高等学校 会場案内図

4

自動車区画



※試合会場、アップ会場以外の場所には入らないで下さい。トイレは、アップ会場のみとなります。

※駐車場は、斜線の引かれた場所以外には駐車しないで下さい。

※校内の自動販売機は使用出来ませんので、本校前の自動販売機を使用して下さい。

宿 舎 一 覧 表

県名	宿舎名	住所・電話番号	種別
福井	ホテルルートイン鯖江	〒916-0038 鯖江市下河端町14-1-1 0778-51-5002	少年男子
	鯖江第一ホテル	〒916-0042 鯖江市新横江1-116 0778-54-0111	成年男子
	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	成年女子
石川	鯖江第一ホテル	〒916-0042 鯖江市新横江1-116 0778-54-0111	少年男子
	プリンスホテルタケフ	〒915-0094 越前市横町39-8-3 0778-23-1001	成年男子
	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	成年女子
	ルートイン福井駅前	〒910-0005 福井市大手2-1-14 0776-30-2130	競技役員
富山	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	少年男子
	サバエシティーホテル	〒916-0027 鯖江市桜町3丁目3-3 0776-53-1122	成年男子
	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	成年女子
長野	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	少年男子 成年男子
新潟	クラウンヒルズ武生	〒915-0071 越前市府中1丁目2-3 0778-23-8100	少年男子 成年男子
	鯖江第一ホテル	〒916-0042 鯖江市新横江1-116 0778-54-0111	成年女子

競技会本部・記録本部

福井県立武生工業高等学校体育館
〒915-0801 福井県越前市文京1-14-16

会場責任者 白崎 佑磨
TEL 0778-22-2730

救 急 指 定 病 院

林病院
越前市府中1-5-7
0778-22-0336

大 会 本 部

第38回北信越国民体育大会実行委員会事務局
福井市福町 3-20 公益財団法人福井県体育協会内
TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742

